

入試年度	2025	入試方式	社会人（秋季）	課程	博士前期
研究科	家政学	専攻	生活福祉学	領域（分野）	

出題のねらい

【設問1】 近年、自然災害が増加していますが、自然災害が子どもに与える影響とその支援についてあなたの考えを、福祉の視点から述べなさい。
 <ねらい> 自然災害に伴う様々な社会問題と、それに伴う社会の福祉問題の理解を子どもへの視点から考えることができるかを評価する。

【設問2】 ヤングケアラーの存在が注目されていますが、学校レベル、社会レベルでどのような支援が望めますか。あなたの考えを、福祉の視点から述べなさい。
 <ねらい> ヤングケアラーの意味、現状について理解し、福祉の視点から考えることができるを評価する。

解答・解答例または採点時の評価ポイント

【設問1】 近年、自然災害が増加していますが、自然災害が子どもに与える影響とその支援についてあなたの考えを、福祉の視点から述べなさい。

<解答>

自然災害は、人々の生命や財産を脅かすだけでなく、社会的に最も脆弱な存在である子どもの「日常」と「安全の基盤」を根底から揺さぶる。災害時、子どもは単なる避難者の一員ではなく、発達段階に応じた特殊なニーズを持つ支援対象として捉えられなければならない。

災害が与える第一の影響は、心理的な側面である。被災時の恐怖体験による心的外傷後ストレス障害に加え、養育者の不安が子どもに伝播することで生じる二次的な心理的不安定さ、さらには大切な人や場所を失う「悲嘆」へのケアが不可欠となる。第二に、生活環境の激変が発達に与える影響である。避難所生活におけるプライバシーの欠如や、遊び場・学習機会の喪失は、子どもの健全な発達を阻害する大きな要因となる。第三に、潜在的な「脆弱性の顕在化」である。経済的困窮家庭や障害児を抱える家庭など、平時から困難を抱えていた世帯において、災害によるストレスが虐待やネグレクトのリスクを急速に高める「二次被害」は、災害福祉における最重要課題の一つである。

直接的支援としては、心理的応急処置の実施や、子どもが安心して過ごせる「子どものための安心・安全な場所」の確保が急務である。どのような状況下でも子どもの「遊ぶ権利」を保障するという理念が重要となる。学校、児童相談所、保健所、そして民間団体が情報を共有する「多職種連携」の強化が不可欠である。特に、支援からこぼれ落ちやすい家庭を早期に発見する「アウトリーチ（訪問支援）」型の体制を構築することが、孤立を防ぐ鍵となる。さらに、子どもを単なる「守られる存在（被災者）」としてのみ捉えるのではなく、復興のプロセスに主体的に関与できるよう促す視点も重要である。自らの意見が反映される経験は、失われた自己効力感を取り戻し、レジリエンスを強化する大きな原動力となる。

【設問2】 ヤングケアラーの存在が注目されていますが、学校レベル、社会レベルでどのような支援が望めますか。あなたの考えを、福祉の視点から述べなさい。

<解答>

ヤングケアラーの多くは、自身の置かれた過酷な状況を「家族として当たり前」と捉えてしまい、自ら助けを求める声を上げることが極めて困難である。この「支援のニーズが表面化しにくい」という特性こそが、彼らを社会から孤立させる最大要因となっている。

ヤングケアラーを早期に発見できる唯一の公的機関は学校である。家庭の密室で行われるケアを可視化するためには、まず教職員が遅刻や居眠り、成績低下といったサインを「怠慢」ではなく「支援の予兆」として捉え直す視点が必要である。具体的な対策としては、スクールソーシャルワーカー（SSW）の積極的な活用が挙げられる。教員が察知した予兆をSSWに繋ぎ、家庭背景を専門的にアセスメントすることで、適切な福祉サービスへ繋げる窓口としての機能を強化すべきである。また、ケアによって学習機会が奪われないよう、オンライン学習や補習などの柔軟な教育課程の運用、さらには同じ境遇の子どもたちが思いを共有できる「ピアサポート」の場を提供することも、心理的な孤立を防ぐ上で極めて有効である。

ヤングケアラー問題の本質は、家族のケア責任が個人に過度に押し付けられている社会構造にある。これを解消するためには、従来の「縦割り行政」を排した包括的な支援体制が不可欠である。例えば、高齢者介護や障害福祉の窓口が、ケアを受ける者の背後にいる「子ども」の存在に気づき、自ら児童福祉部門へ情報を繋ぐ「プッシュ型」の支援が求められる。また、ヤングケアラーがいる世帯に対し、ヘルパー派遣などの既存サービスを優先的に割り当てるなど、制度の柔軟な運用によって直接的にケア負担を軽減させなければならない。さらに、社会的認知の向上も急務である。彼らの献身を「健気な孝行」といった美談として消費するのではなく、教育や遊びの機会を奪う「権利侵害」であるという共通認識を社会全体で醸成すべきである。